



新年のご挨拶

壬生野地域まちづくり協議会会長 亀井直文



年頭にあって

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、年度当初より新型コロナウイルスが発生、拡大しこれまで経験したことのない年となりました。

そのような中、感染防止のため、当協議会の運営並びに活動も自粛せざるを得ない状況になりました。

しかし、地域の皆様のご理解とご協力により、規模を縮小しての各部会研修の実施や、壬生野まつりの開催など知恵を出し合って取り組むことができました。本当にありがとうございました。

また、そのような中から自分や自分の家族、周りの人のことを考えられた1年だったように思います。今年もこの思いを土台にして、地域の安全安心、住みよい地域社会づくりに努めてまいりたいと考えています。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様の益々のご多幸、ご健勝をお祈りして新年のご挨拶と致します。



今後のまちづくり関係行事予定

月 日(曜日)	行 事 名	場 所
1月 8日(金)	小中学校始業式(3学期)	各学校
10日(日)	伊賀市成人式	いがまち公民館ホール
2月 5日(金)	人権同和地区別懇談会最終報告会	地区市民センター *各地区区長・各地区人権啓発推進委員
14日(日)	壬生野地区総合防災訓練(図上訓練)	地区市民センター *運営委員会・壬生野地区関係機関等
3月 6日(土)	健康ウォーキング	熊野古道(和歌山県) *2月1日配布の組回覧で募集します 【2月15日〆切 申込多数の場合は抽選】
12日(金)	中学校卒業式	各学校
19日(金)	小学校卒業式	各学校
28日(日)	伊賀市議会議員選挙投票日	市内各投票所

* 新型コロナウイルスの感染状況により、行事予定が変更となる場合がありますのでご注意ください。

西之澤区で南海トラフ地震を想定した避難訓練！

11月には、壬生野地域の4自治会で防災訓練が行われました。15日(日)には川東区において避難訓練と AED の使用訓練が行われ、川西区では避難訓練と防災講演会が開催されました。

22日(日)には山畑区において避難経路、避難場所の確認が行われ、西之澤区では避難訓練が実施されました。今号では、南海トラフ地震を想定した西之澤区の避難訓練を紹介します。



西之澤区では、この試みは今回が初めてであり、各組が一時避難場所にて、逃げ遅れた人を確認した後、組単位で西之澤区の避難場所に移動する手順での訓練でした。各組で組員名簿を準備していたおかげで、安否確認もスムーズに実施できました。今回の訓練には、42 世帯 85 名が参加し、大きな混乱もなく無事に実施できました。指導頂いた消防署員の方からの総評では、本当の災害を想定し非常持ち出し品を持って出るなど、より現実に近い訓練を行ってほしいとの話がありました。コロナ禍の中ではありましたが、多くの参加者のもと、初めての避難訓練を体験できました。今回の訓練では、実際に逃げ遅れた高齢者がいた場合に、どのように救助するのかなどの課題も見えてきました。今後の防災対策に活かしていきたいと考えています。

《投稿者:西之澤区長、西尾智博さん》

人権フィールドワークが開催されました



11月29日(日)、壬生野地域まちづくり協議会(人権同和部会)主催の人権フィールドワークが奈良県橿原市の『おおくぼまちづくり館』とその周辺において開催されました。今回の研修目的は、「被差別部落が『天皇陵を見下ろすのは恐ろしい』とし、強制移転させられた歴史を学ぶとともに、部落差別をはじめとするあらゆる差別や人権問題を考え解決する行動力を身に付ける」ことです。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数を限定し各地区区長、各地区人権啓発推進委員を中心に20名が参加しました。フィールドワークで特に印象に残ったことは、「今でも旧洞村から移転してきた人を、『新おおくぼ』と差別的に呼ぶ人がいる」という講師さんの話でした。被差別部落はどこに行っても差別されるのかと思うと腹立たしく感じました。実施後のアンケートでは、全員が「勉強になった。」「おもしろかった。」との回答があり、来年度も引き続いてフィールドワークを開催していきたいと考えています。

《投稿者:人権同和部会》

総合防災訓練事業視察研修が実施されました

12月5日(土)、壬生野地域まちづくり協議会(防犯防災部会)主催の総合防災訓練視察研修が実施され、運営委員会の構成メンバー17名で和歌山県土砂災害啓発センターを訪問しました。同センターは、平成23年9月に発生した台風12号により紀伊半島大水害を受けた地域に設置されており、過去の災害の教訓を風化させずに後世に継承し、土砂災害から身を守るための研修を行うことを目的に、平成28年4月に開設した施設です。当日の研修は、90分間余の時間を頂き、土砂災害のメカニズムとその対策というテーマで講義を受けました。土砂災害はひと言でいうと山崩れであるが、土石流・がけ崩れ・地すべりの3種類があり、年間平均1,100件が発生し近年では更に増加の傾向にある。また、土砂災害の誘因として地形地質、土地利用など様々なものがあり、地震がその誘因となることもあるとのことのお話を伺いました。

また、講義の中では壬生野地域を想定した場合に大平池、田代池や一級河川滝川において引き起こす土砂災害についてもハザードマップを用いてお話しいただきました。講義のあとは、土石流の模型による実験や、砂防えん堤の工事説明を受けました。この研修で得た成果を活かして、壬生野地域では本年2月に土砂災害を想定した図上訓練を行います。



《投稿者:防犯防災部会》

山畑区グラウンドゴルフ大会が開催されました

11月15日(日)午後1時から、山畑区グラウンドで老若男女の区民の皆様にご参加いただきグラウンドゴルフ大会が行われました。今年はコロナウイルスの影響で運動会や、盆踊りなど区の行事の殆どが中止となり、区民間のコミュニケーションが図れない状態が続いてました。

当日は、小学生から老人クラブの皆さんまで、幅広い年齢の方にご参加頂き、久しぶりに、世代間交流が出来ました。半日の短い時間ではありましたが楽しい時間を過ごすことができました。区民の皆様へ感謝！



《投稿者:山畑区長》

年末恒例の壬生野地区グリーン作戦を実施！



12月6日(日)、早朝より壬生野地域において一斉に年末のグリーン作戦が実施されました。このグリーン作戦は、壬生野地域まちづくり協議会(生活環境部会)主催で、壬生野地域全域をきれいにして新年を迎えようと、まちづくり協議会発足以来、継続して実施しています。

当日は、各地区に分かれて道路や水路の周辺などに不法投棄されているごみを集めました。ごみは、「燃えるゴミ・金属類・ビン類・ペットボトル類」の区分により集められ、回収されたごみは自治会毎に、伊賀市さくらリサイクルセンターに搬入しました。搬入されたごみの内訳は、燃えるごみなど可燃性のものが90kg、金属・埋め立てなど不燃性のものが250kgで計340kgです。生活環境部会では定期的に不法投棄防止パトロールや、啓発看板設置箇所の草刈りを行っています。地域が一丸となって、不法投棄のないまちづくりに取り組んでいきたいと思います。

《投稿者:生活環境部会》

滝山溪谷文化コンテストが開催されました

12月7日(月)～12日(土)の6日間に亘り、壬生野地区市民センターにおいて滝山溪谷文化コンテストの展示が行われました。コンテストには11月に募集した俳句(兼題は紅葉、小鳥来る)では一般作品が75句、児童生徒の作品は93句と、壬生野地域内外からの投句がありました。

また、絵画と写真も同時に募集し(テーマは滝山溪谷、紅葉)、絵画は3点、写真は15点の展示がありました。12月21日(月)には部門毎に、特選に選ばれた方々の表彰式がありました。



《投稿者:白藤滝保勝会》

◇◆◇◆ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せください。 ◇◇◆◇

壬生野地域まちづくり協議会

広報誌事務局

TEL:45-8900

